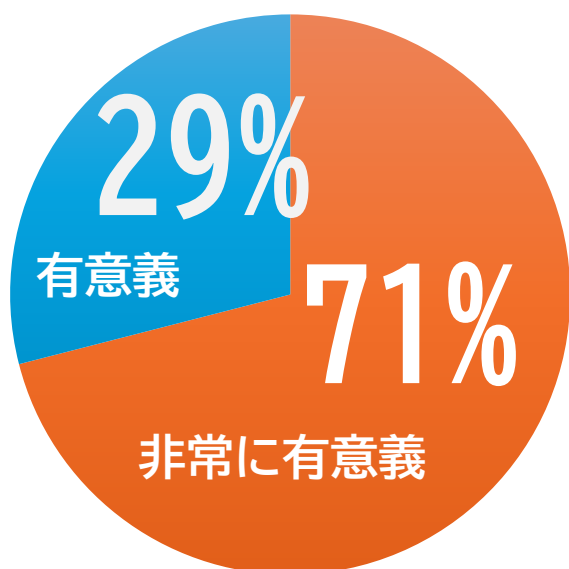


令和8年度 感染防止対策強化研修 アンケート結果

第1回 令和8年4月16日(木)～令和8年4月22日(水)
第2回 // 5月8日(金)～ // 5月14日(木)

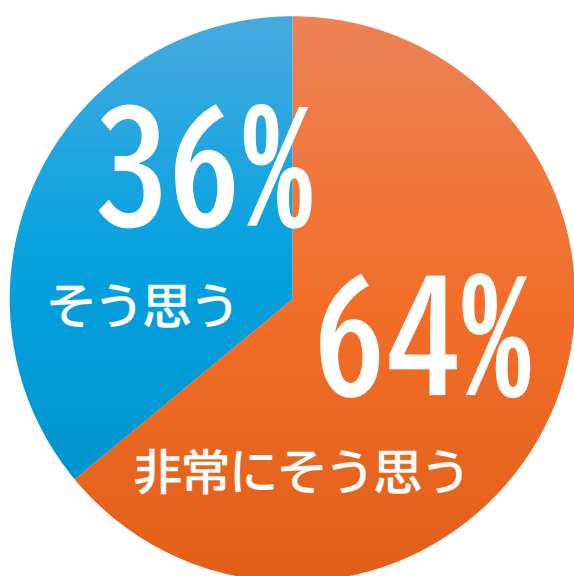
1. 研修の満足度



研修生の声

- 全てにおいて感染症に特化した授業で新たな知識と再確認の場で非常に勉強になった。
- 感染防止マニュアルの作成のため、すべての講義、シミュレーションが有意義だった。
- PPE着脱訓練は、予算の都合上所属単位ではなかなか実施できない訓練だった。
- 感染症の恐ろしさと適切な対応を再確認することができた。
- これまで感染対策についての対応に不安を感じていたものが解消された。

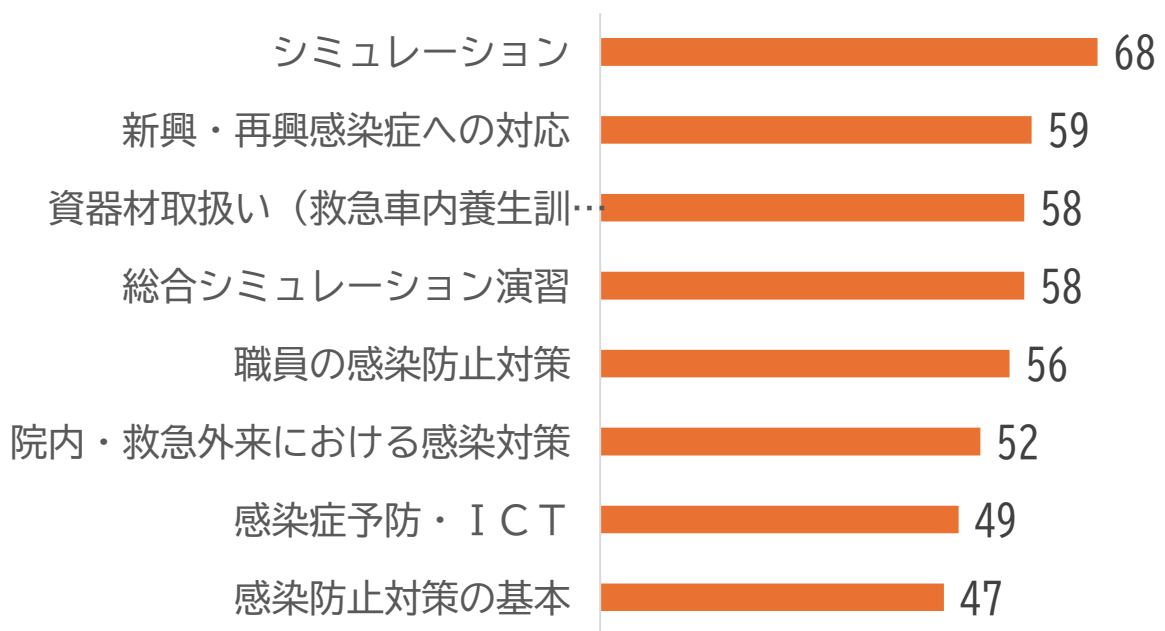
2. 研修内容は今後の業務に活用できそうか



研修生の声

- 実技を通して汚損を理解でき、職場でも実施できると考えられた。
- 講義、実技共に所属に帰り、研修に活かせると思った。
- 今後所属で感染対策チームを作る上で参考になる内容だった。
- 所属でフィードバックをするのに必要だと感じた。
- 現場に即、反映できる。
- 基本から応用に至るまで要綱やマニュアルを整備する上で必要な内容だった。
- 救急業務規程の見直しや、感染対策マニュアルの策定に大いに参考になった。

3. 研修生が役に立つと感じた授業



※ シミュレーションとは：感染防止を見える化したPPEの着脱等の各種実習訓練

※ 総合シミュレーション演習とは：講義と実習でインプットした内容をアウトプットする机上訓練

4. 研修生から寄せられた主なコメント

◆ 講義について

- 感染対策全般の知識を深められたことで根拠を持った活動ができるようになった。また、所属での還元研修に関しても非常に有意義だと思っている。
- 授業は大変参考になり、最前線の感染防止対策として全国の消防本部で共有すべき内容が多くあった。
- 新型コロナが5類になった時点で感染予防に対する意識が低くなっていたが、研修を通して感染予防の知識、救急出動時の注意点や気づきを多く学ぶことができた。
- 新興感染症への対応を詳しく知ることができ、自身の知識の向上になった。

◆ 実習について

- 感染症対策の訓練は、資器材の関係で繰り返すことができないため、シミュレーションを含め、実技が行えてよかった。
- 養生やタイバックを着装しての活動を経験してなかったので、とても勉強になった。所属での研修に参考になる。
- 手指消毒は普段から行っているが、適当になっている部分が多く、確実なものではなかった。それを手技として確認できたのが大きかった。
- 汚染を可視化でき、知らないうちに飛散していたり、脱衣時に衣服に付着していたりといった気づきがあった。